



あなたはどんなことに興味がありますか？

世の中にはたくさんの資格があるので、『この資格が向いている』ということまでは言えませんが、『この分野の資格が適しているのではないか』ということは分かります。

さて、試してみましょう。

■以下の中で自分が興味を持つものにチェックをつけてみてください。

- A. 地域の人役に立ったり、地域が発展するような仕事をしてみたい
- B. 会社などの組織の中で、ビジネスマンとして活躍したい
- C. コンピューターの技術を使う『IT』の世界に興味がある
- D. 自分にしっかりとした技術をつけて『職人』とよばれる人になりたい
- E. 家や建物など、『住まい』に関する仕事が出来人になりたい
- F. 自分は機械などを作り上げるエンジニアのような人になりたい
- G. クルマや飛行機など乗り物に興味があるので、その分野の仕事につきたい
- H. 人の身体の治療やお年寄りの世話など、医療や福祉の世界に興味がある
- I. 人の衣食の部分に関わること、食べ物や着る物に関わる仕事がしたい
- J. スポーツを教えたり、人の健康管理に関わる仕事がしてみたい
- K. 今のところ、まだはっきり仕事分からないので、教養を広げたい



■上に書いてあるものから連想できる資格として、あなたが知っている資格はどのような資格ですか？

【例】

E	インテリアコーディネーター	I	調理師

ここで一旦映像教材が止まります。  
先生の指示に従って記入し、  
発表しあってください。



**A**

公務員  
司法  
警察  
消防  
防衛  
教育  
社会教育

**B**

経営  
金融  
財務  
税務  
労務  
生産  
流通  
事務

**C**

情報処理  
コンピュータ  
無線  
通信  
電子  
電気  
音響機器

**D**

技能士  
職業訓練  
技能検定  
技能審査

**E**

土木  
建築  
不動産  
宅建

**F**

工業  
設備  
電子電気機器  
環境安全  
危険物

**G**

自動車  
車両  
海技  
船舶  
航空  
旅行

**H**

医療  
社会福祉

**I**

栄養  
調理  
美容  
衛生  
畜産  
森林

**J**

健康  
スポーツ  
競技

**K**

語学  
マスコミ  
ファッション  
教養  
趣味



それぞれの分野から自分の興味に合ったものがあれば、インターネットや書籍などで詳しく調べてみましょう。その際は、検索などの時に〇〇の資格と入力してみるとスムーズに調べることができるはずです。例えば、興味のある分野が土木なら「土木の資格」と、航空なら「航空の資格」と入力してみてください。